

送辞

桜の蕾も膨らみ、皆様の姿を象徴するかのよう、今まさに花を開こうとしています。四年生の皆様、本日は御卒業、誠におめでとうございませう。在學生を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

四年間、先輩方が武蔵大学で過ごしてきた時間は、とてもかけがえのないものになったと思います。

私達は、部活動・サークル活動・ゼミ演習といった様々な活動を通して先輩方の姿を見てきました。そして、大変多くのことを学ばせていただきました。

先輩方とともに過ごした年月を振り返って、“今”私達は様々なことを思います。

ともに笑い、ともに悲しみ、ともに喜ぶ。

ともに悩み、ともに乗り越え、ともに分かち合う。

感情を共有できる人がいることは、心の支えでした。あるがままの姿を受け入れ、厳しく指導してくれる人がいることは、誇りであり、幸せでした。

しかし、そんな先輩方とも今日をもってお別れとなってしまいます。今はまだその実感は湧きません。きっと、先輩方の去った大学生活の中で、ふとした瞬間に、その存在の大きさ・大切に改めて気付くのでしょう。そして、そのあと、私達はこの穴を埋めようと、必死になって成長していくのでしょう。私達は、この出会いを決して忘れません。

「人」は、皆支えあって生きています。先輩方もこれから社会に出られ、多くの人と出会い、「この人に会えてよかった」と思える機会が多くあるのだと思います。もし、人生の壁に突き当たったならば、その一つ一つの出会いを糧にして、頑張ってください。必ず、支えてくれる友人や家族が近くにいるはずでせう。

私達在學生も、残された大学生活を過ごすにあたり、先輩方が築いてこられた武蔵大学がより発展するよう、尽力していきたいと思ひます。

最後に、皆様がこれまで良き先輩として私達を導き、励まして下さったことに、心より感謝申し上げます。皆様の今後の御活躍と御多幸をお祈りしつつ、在學生一同、心よりお祝いを申し上げて、卒業される皆様への送辞とさせていただきます。

平成 24 年 3 月 22 日
在學生代表 鈴木佐和